

株式会社エコパレット滋賀

2022 年度 環境経営レポート

(対象期間 2022 年4月1日～ 2023 年3月31日)



エコアクション21
認証番号0004913

作成日： 2023年4月6日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
承認・登録の対象組織・活動	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	7
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	8
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	11
緊急事態対応訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12
これまでの環境活動の紹介	12

株式会社 エコパレット滋賀

環境経営方針

<環境経営理念>

私たちは、日々変化する社会が求めるものを提供し続けることにより、社員の幸福の実現と地球環境の保護に努めます。

<環境保全への行動指針>

株式会社エコパレット滋賀は、廃プラスチックのマテリアルリサイクル及び、リサイクル材料からのパレットの製造、販売事業活動において、環境保全は経営の重点課題であり、環境に対する正しい知識を持つと共に、環境負荷の低減を図るため全社一丸となつて、自主的・積極的に、環境への取組を継続的に推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する。
2. 二酸化炭素排出量を削減する。
 - ・使用電力量の削減
 - ・化石燃料使用量の削減
3. 廃棄物の削減及び再資源化を推進する。
 - ・廃棄物の分別を積極的に推進し、廃棄物の削減とリサイクルの推進に努める。
4. 排水量（または水使用量）を削減する。
 - ・工程洗浄水の使用量の削減
 - ・一般水道水の使用量の削減
5. 化学物質使用量を削減する。
 - ・PRTR物質調査の結果、現在は使用していませんが、今後、該当物質を使用した場合は、適正な管理を行う。
6. グリーン商品の購入やグリーン商品の調達企業の採用を優先して行う。
7. リサイクルパレットの拡販、リサイクルの活用分野を拡大していく。
8. 地元中学生の就業体験学習を受け入れる。

制定日：2009年9月1日

改定日：2020年10月1日

常務取締役工場長

為井 章宏

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社エコパレット滋賀
代表取締役 鷹見 善彦

(2) 所在地

本 社 滋賀県甲賀市甲南町柑子2002番地24号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 製造第二部部长 鈴木 一秀 TEL：0748-86-1601
担当者 管理部 係長 畠山 知 TEL：0748-86-1601

(4) 事業内容

容器包装プラスチックの再生原料化及びリサイクルパレットの製造

(5) 事業の規模

法人設立 1999年2月10日
資本金 5,000 万円

	本社事務所	本社工場		
従業員	10 名	39 名		
延べ床面積	406 m ²	7482 m ²		
受託した一般廃棄物の処理量				
収集運搬量		t		
中間処理量	15,880 t		うち再資源化量	7,497 t
最終処分量	0 t			
中間処理後の産廃の処分量	8,938 t		うち再資源化量	8,471 t
車種				
	台数		備考	
10 t 大型車	2 台			
2 t トラック	1 台			
普通乗用車	2 台			
合計	5 台			

主要設備

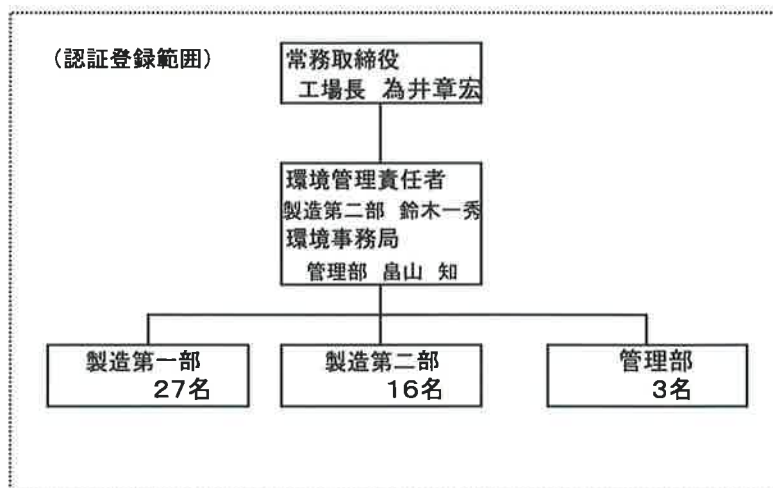
名称	台数	備考
解碎機	2 基	
破砕機	2 基	
成型機	1 基	

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社エコパレット滋賀
対象事業所：本社工場
活動：容器包装プラスチックの再生原料化及びリサイクルパレットの製造

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2023年4月6日



	役割・責任・権限
代表者(工場長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 経営における課題とチャンスの明確化 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、製造第二部の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
製造第二部	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> 環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□許可の内容

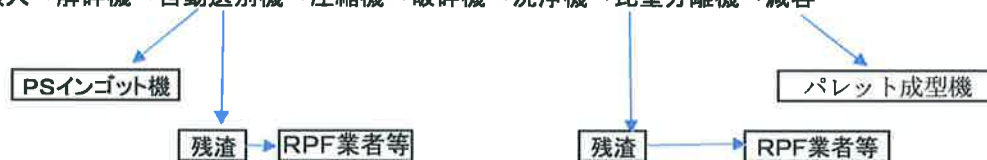
一般廃棄物処理施設許可の内容

許可の年月日	平成15年9月10日
許可番号	第41002号
一般廃棄物処理施設の種類	ごみ処理施設
処理する一般廃棄物の種類	廃プラスチック類

□施設等の状況

- ・ 処理能力 : 139.2t/日(24時間)
- ・ 工程フロー図

搬入→解砕機→自動選別機→圧縮機→破碎機→洗浄機→比重分離機→減容



□主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	3,693,464	3,782,539	3,558,652
受託収集運搬量	トン	0	0	0
受託中間処理量	トン	14,472	15,445	15,880
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量	トン	8,429	8,855	8,995
一般廃棄物排出量	トン	8	6	6
産業廃棄物排出量	トン	8,421	8,849	8,989
水使用量	m ³	18,119	19,816	32,593

※二酸化炭素排出係数 0.379 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

□環境経営目標及びその実績

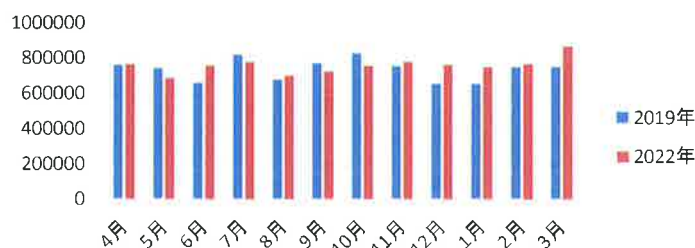
項目	年度	基準値	2022年		評価	2023年	2024年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,376,446	3,376,446	3,459,027	×	3,376,446	3,376,446
	基準年度比	2019年	100%	102%		100%	100%
	原単位	kg-CO ₂ /千円	2.81	2.81	2.31	○	2.81
自動車・リフト燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	105,572	103,461	98,556	○	103,461	103,461
	基準年度比	2019年	98%	93%		98%	98%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	3,482,021	3,479,909	3,557,585	×	3,479,909	3,479,909
一般廃棄物の削減	kg	8,377	8,377	5,757	○	8,377	8,377
	基準年度比	2019年	100%	69%		100%	100%
水道水の削減	m ³	16,326	16,326	32,593	×	16,326	16,326
	基準年度比	2019年	100%	200%		100%	100%
溶剤使用量削減（あるいは適正管理）	kg	7,000	7,000	18,410	×	7,000	7,000
	基準年度比	2019年	100%	263%		100%	100%
環境配慮型製品の生産	kg	7,929,619	7,929,619	8,249,889	○	7,929,619	7,929,619
	基準年度比	2019年	100%	104%		100%	100%

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	廃プラスチック処理量、パレット生産量が増加した。使用量は2%増となったが、原単位では18%の削減となっている。2020年2月の洗浄脱水造粒機の導入と2020年6月のチラーの更新など省エネ設備導入による効果を踏まえ、引き続き効率的な電気の使用に努めた。
・人感センサー付き不要照明に変更	○	
・省エネ(エネルギー効率の高い)設備へ更新	○	

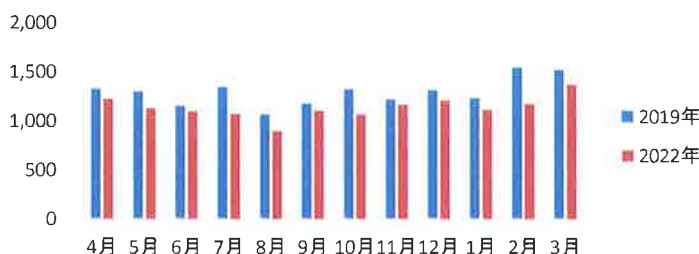
電力(kWh)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	761,947	742,522	658,519	819,475	677,270	771,071	825,988	753,455	653,531	653,531	748,954	751,194
2022年	767,251	690,108	759,461	782,643	703,457	725,235	760,414	781,635	764,177	751,973	770,748	869,619

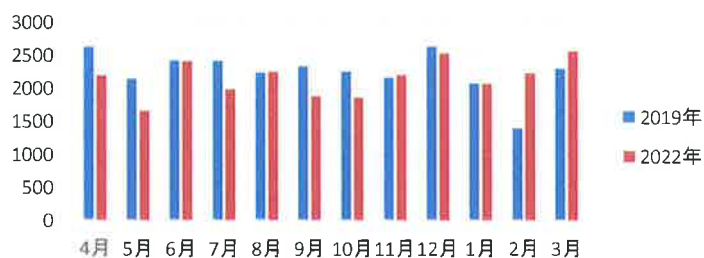
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	年間通して廃プラスチック引取増加し自社トラックの本格活用した、効率運用により達成できた。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで走行	○	
・作業停止時リフトのエンジン停止	○	

ガソリン(L)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	1,323	1,298	1,154	1,344	1,066	1,178	1,321	1,216	1,313	1,232	1,541	1,518
2022年	1,226	1,131	1,100	1,077	897	1,109	1,071	1,169	1,213	1,117	1,176	1,375

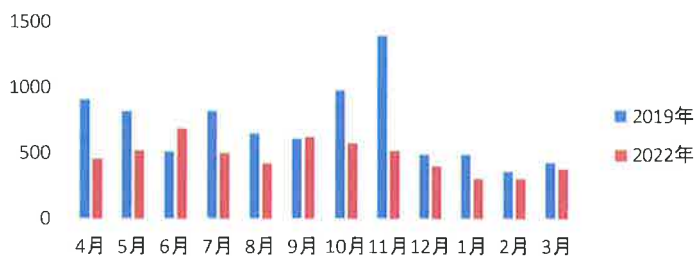
軽油(L)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	2,625	2,138	2,418	2,415	2,238	2,333	2,253	2,160	2,633	2,074	1,394	2,297
2022年	2,203	1,664	2,419	1,991	2,258	1,892	1,864	2,210	2,535	2,075	2,238	2,568

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	廃棄物削減の意識付けが浸透し目標達成した。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	△	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	

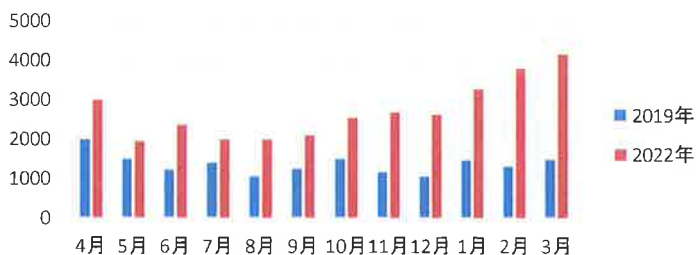
一般廃棄物(kg)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	909	820	513	821	650	610	980	1,394	487	487	362	427
2022年	460	526	693	505	426	628	582	524	407	312	312	383

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	4年前に大幅削減後、処理量増加に伴い水道使用量増加。
・水処理設備の修繕（曝など）	○	

水道水(m³)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2019年	1,983	1,487	1,216	1,395	1,051	1,240	1,493	1,157	1,053	1,463	1,309	1,479
2022年	2,999	1,957	2,371	2,003	2,002	2,111	2,552	2,692	2,639	3,288	3,809	4,170

溶剤使用量削減(あるいは適正管理)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	搬入される廃プラスチックの増加に伴い、選別後の洗浄処理量も増加し溶剤使用量も増加。
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○	

取組紹介欄

環境配慮型の製品生産	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	順調に生産活動が実施できた。

取組紹介欄

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物の管理、排出
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守
振動規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守
消防法（危険物）	対象危険物保管の届出
地域ゴミ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出
フロン排出抑制法	エアコン設備の点検

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生（昼間）	
■実施日： 令和4年11月14日	■実施場所 製造第一部の選別ライン残渣置場付近
■参加者： 事務所・製造第一部・製造第二部 全員計42名	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、通報訓練
■評価： 人員把握が早くなってきている。 細かな課題等が確認出来て良かった。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
	

緊急事態の想定： 火災の発生（夜間を想定）	
■実施日： 令和4年11月14日	■実施場所 製造第二部の成型ライン
■参加者： 製造第一部・製造第二部 全員計22名	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 夜勤時は人数少ないが、少人数でも消防訓練が実行され良好。 細かな課題等が確認出来て良かった。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2023年4月6日

【評価・結果】

2022年度は、2021年度に引続き一般廃棄物(容器包装プラスチック)の処理量が増加。電気代高騰も考慮し出来る限り電力削減に取り組みたい。なお、計画的にLED化は実施完了した。

【見直し】

2023年度以降も一般廃棄物(容器包装プラスチック)の処理量は高位推移予想されるが環境経営計画は見直しせず継続する。

環境経営方針

変更なし

変更あり

環境経営目標・計画

変更なし

変更あり

搬入される廃棄物が増加し処理量も増加する中、省エネに努めた。

実施体制

変更なし

変更あり

□これまでの環境活動の紹介

- ・社有車のハイブリッド車導入による燃料使用量の削減
- ・デマンド監視による使用電力量の見える化
- ・コンサルタント会社の導入による水道使用量削減
- ・洗浄脱水造粒機の設置による電気使用量の削減
- ・省エネの新型チラー設備更新による電気使用量の削減

以上の活動を数年かけて行ってきて、使用電力量の削減について効果を出す事が出来た。